

㊦

前橋市教育委員会告示第16号

前橋市教育委員会12月定例会を次のとおり招集します。

令和4年12月7日

前橋市教育委員会

教育長 吉川 真由美

記

- | | | | | |
|---|---|---|---------------|---------|
| 1 | 日 | 時 | 令和4年12月14日(水) | 午後1時30分 |
| 2 | 場 | 所 | 市役所11階南会議室 | |

令和4年12月定例教育委員会提出事項

1 その他

- (1) 行事について (総務課)
- (2) 第2期前橋市教育施設長寿命化計画(案)に関するパブリックコメントの実施について (教育施設課)
- (3) 令和4年度「まえばし教育の日」事業実施結果について (学校教育課)
- (4) 令和4年度学区別教育懇話会実施結果について (学校教育課)
- (5) 令和4年度第2回前橋市公民館運営審議会の開催結果について (生涯学習課)
- (6) 第1回前橋市はたちのつどいの開催について (青少年課)

議 事 日 程 第 1 号

前橋市教育委員会 12月定例会
令和4年12月14日(水)
午後1時30分開議

第1 会期の決定

第2 会議録署名委員の指名

第3 そ の 他

- (1) 行事について (総務課)
- (2) 第2期前橋市教育施設長寿命化計画(案)に関するパブリックコメントの実施について (教育施設課)
- (3) 令和4年度「まえばし教育の日」事業実施結果について (学校教育課)
- (4) 令和4年度学区別教育懇話会実施結果について (学校教育課)
- (5) 令和4年度第2回前橋市公民館運営審議会の開催結果について (生涯学習課)
- (6) 第1回前橋市はたちのつどいの開催について (青少年課)

教育委員会1月行事予定表

日	曜	行 事 名	時 間	場 所	担当課
1	日				
2	月				
3	火				
4	水	仕事始め			
5	木	新春おたのしみ会 リレーおはなし会(駒形読み聞かせの会) 新春おたのしみ会 リレーおはなし会(たこさんのおはなしや)	11:00～ 14:00～	こども図書館	図書館
6	金	市立前橋高等学校始業式		前橋高等学校	前橋高等学校
		新春おたのしみ会 紙芝居ライブ(ヨロロンデぶっち)	11:00～	こども図書館	図書館
7	土	新春お楽しみ会 冬の昔話・民話おはなし会(萌えぎの会)	11:00～	こども図書館	図書館
8	日	第1回前橋市はたちのつどい	午前の部11:30～12:30 午後の部15:00～16:00	日本トーターグリーンドーム前橋	青少年課
9	月				
10	火	市立幼稚園始業式		各幼稚園	総合教育プラザ
		市立小・中・特別支援支学校始業式		各学校	学校教育課
		教育委員会1月定例会	14:00～15:00	前橋市役所11階北会議室	総務課
11	水				
12	木				
13	金	まえばし古墳の教室「馬具を作ろう」	9:00～12:00	総社歴史資料館	文化財保護課
14	土	こどもエコクラブ交流会	9:00～12:30	児童文化センター	青少年課
15	日	粕川歴史民俗資料館企画展講座2	13:30～15:00	粕川歴史民俗資料館	文化財保護課
16	月				
17	火	臨江閣 雛人形展示(～3月5日まで実施予定)	9:00～17:00	臨江閣	文化財保護課
18	水				
19	木				
20	金				
21	土				
22	日	文化財火災防御演習(文化財防火デー)	10:00～11:00	金剛寺(宮城地区)	文化財保護課
23	月				
24	火				
25	水				
26	木				
27	金	まえばし古墳の教室「古代文様タイルを作ろう」	9:00～12:00	総社歴史資料館	文化財保護課
28	土	前橋・高崎連携事業文化財展(～2月5日まで)	9:00～17:00	臨江閣	文化財保護課
29	日				
30	月				
31	火				

※行事については、群馬県「社会経済活動再開に向けたガイドライン(改訂版)」の警戒レベルに基づく段階に応じて、中止する場合があります。

教育委員会2月行事予定表

日	曜	行 事 名	時 間	場 所	担当課
1	水				
2	木				
3	金				
4	土				
5	日				
6	月				
7	火				
8	水	第2回児童文化センター運営委員会	15:00～17:00	児童文化センターホール	青少年課
9	木				
10	金				
11	土	建国記念の日			
		児童文化センター合唱団定期演奏会	14:00開演	昌賢学園まえばしホール	青少年課
12	日	粕川歴史民俗資料館企画展講座3	13:30～15:00	粕川歴史民俗資料館	文化財保護課
		児童文化センタージュニアオーケストラ定期演奏会	14:00開演	昌賢学園まえばしホール	青少年課
13	月	前期選抜試験			前橋高等学校
14	火				
15	水	教育委員会2月定例会	14:00～15:00	前橋市役所11階北会議室	総務課
16	木				
17	金				
18	土				
19	日				
20	月				
21	火	前期選抜合格者発表			前橋高等学校
22	水				
23	木	天皇誕生日			
24	金				
25	土	市民天文教室(月の撮影)	18:00～20:00	児童文化センター	青少年課
26	日				
27	月				
28	火				

※行事については、群馬県「社会経済活動再開に向けたガイドライン(改訂版)」の警戒レベルに基づく段階に応じて、中止する場合があります。

第 2 期前橋市教育施設長寿命化計画（案）に関するパブリックコメントの実施について

教育施設課

1 目的

令和 4 年度末で前橋市教育施設長寿命化計画の計画期間が終了することから、現在、策定に向けて検討を進めている第 2 期前橋市教育施設長寿命化計画（案）について、意見を求めるもの。

2 パブリックコメント資料

第 2 期前橋市教育施設長寿命化計画（案）

第 2 期前橋市教育施設長寿命化計画【概要版】（案）

3 パブリックコメントの実施概要

(1) 意見の募集期間

令和 4 年 1 2 月 1 4 日（水）から令和 5 年 1 月 1 3 日（金）まで

(2) 資料の公表方法

① 市ホームページへの掲載

② 施設での配付

・市役所本庁舎（10 階教育委員会事務局教育施設課、2 階情報公開コーナー）

・各支所、各公民館、各コミュニティセンター

(3) 意見の提出方法

① 市ホームページ内の専用入力フォーム

② 電子メール

③ 郵送

④ 資料配布施設に持参

(4) 市民への周知

① 市ホームページへの掲載

② 広報まえばし 1 2 月号への掲載

(5) 意見に対する回答

意見及び意見に対する本市の考え方について、市ホームページ及び資料の配布施設において公表する。

令和4年度「まえばし教育の日」事業実施結果について

学校教育課



1 実施期間 令和4年10月16日～令和4年11月15日

2 事業数

○各課主催 27事業

事業名	実施期日	会場	担当課	備考(感染症対策等)
市P連学区別教育懇話会	令和4年9月～11月	学区別会場 (7学区で実施)	学校教育課 (教育企画係)	
子育て親子支援事業 周遊型謎解きゲーム 「芳賀公民館館長の秘密の眼鏡を探せ！」	令和4年9月28日(木) ～10月31日(月)	芳賀地区	生涯学習課 (芳賀公民館)	
地区公民館文化祭	令和4年10月～11月	各地区公民館 (14地区公民館で実施)	生涯学習課	
子育て・親子支援事業「ベビープログラム」	令和4年10月11日(火)、18日 (火)、25日(火)、11月1日(火)	中央公民館	生涯学習課 (中央公民館)	
自主学習グループ支援 ぶちフェスタ オカリナコンサート	令和4年10月16日(日)	上川淵公民館	生涯学習課 (上川淵公民館)	
自主学習グループ活動支援事業 「自主学習グループ研修講座」	令和4年10月16日(日)	南橋公民館	生涯学習課 (南橋公民館)	
子育て・親子支援事業 「災害時にも役立つ！親子アウトドア料理」	令和4年10月16日(日) 10月23日(日)	永明公民館	生涯学習課 (永明公民館)	
学び合い、人権、地域ふれあい事業 「こども防災プログラム」	令和4年10月17日(月)	永明公民館 永明小学校	生涯学習課 (永明公民館)	
前橋市児童生徒音楽会	令和4年10月19日(水) ～10月21日(金)	昌賢学園まえばしホール 大ホール	学校教育課 (指導係)	小学校合唱のみに限定 感染対策を行った上で開催
朔太郎音楽祭 2022	令和4年10月23日(日)	昌賢学園まえばしホール 大ホール	文化国際課	
第45回前橋市民芸術文化祭 日本舞踊のつどい	令和4年10月23日(日)	昌賢学園まえばしホール 小ホール	前橋市文化協会 (文化国際課)	
子育て・親子支援事業 「バルーンアートであそぼう！」	令和4年10月23日(金)	永明公民館	生涯学習課 (永明公民館)	
上川淵スマホ講座	令和4年10月26日(水)、 10月27日(木)	上川淵公民館	生涯学習課 (上川淵公民館)	
まえばし図書館まつり	令和4年10月27日(木) ～11月9日(水)	前橋市立図書館	図書館	実施期間については読書週間期間。 展示については、期間前後に渡るもの もあり
第45回前橋市民芸術文化祭 自然趣味盆栽展	令和4年10月28日(金) ～10月30日(日)	昌賢学園まえばしホール 大展示ホール	前橋市文化協会 (文化国際課)	
里山学校	令和4年10月29日(土)	国指定重要文化財 阿久沢家住宅	文化財保護課	
子育て・親子支援事業 抱っこひもでエクササイズ	令和4年10月31日(月)	上川淵公民館	生涯学習課 (上川淵公民館)	
まえばし教育の日事業「おはなし会」	令和4年11月3日(木)	前橋プラザ元気21 (前橋こども図書館)	図書館 (こども図書館)	
学び合い・人権・地域ふれあい 平家物語	令和4年11月3日(木)	中央公民館	生涯学習課 (中央公民館)	
文化の日を楽しもう	令和4年11月3日(木)	児童文化センター	青少年課 (児童文化センター)	・名前を変更し規模を縮小し実施 ・事前に周知せず実施
第45回前橋市民芸術文化祭 仏像彫刻と陶芸・絵画展	令和4年11月4日(金) ～11月6日(日)	昌賢学園まえばしホール 大展示ホール	前橋市文化協会 (文化国際課)	
第30回萩原朔太郎賞贈呈式	令和4年11月6日(日)	前橋文学館	文化国際課	事前予約制・オンライン同時配信
子育て・親子支援事業 「Swet Mom」	令和4年11月9日(水)	南橋公民館	生涯学習課 (南橋公民館)	
青少年体験・チャレンジ活動 子ども能楽教室	令和4年11月11日(金)	敷島小学校	生涯学習課 (中央公民館)	
第45回前橋市民芸術文化祭 前橋洋舞フェスティバル	令和4年11月13日(日)	昌賢学園まえばしホール 大ホール	前橋市文化協会 (文化国際課)	
前橋市児童生徒理科研究発表会	令和4年11月13日(日)	公立大学法人 前橋工科大学	学校教育課 (指導係)	感染対策(体調記録書の提出、手指 消毒、参観者等人数制限)を行った上 で開催
芸術文化事業「市民の茶席」	令和4年11月15日(金)	中央公民館	生涯学習課 (中央公民館)	

○各学校・園主催 79事業

- ・文化祭(合唱コンクール、文化発表会等)
- ・学校公開
- ・持久走大会
- ・体育大会
- ・学習参観
- ・音楽集会
- ・合唱発表会
- ・マーチング発表会
- ・校内絵画展
- ・PTA行事
- ・講演会
- ・稲刈り体験 等

3 参加者数

○各課主催 22, 169名

○各学校・園主催 10, 785名

4 事業周知

- シンボルマークの活用
- 市ホームページへの掲載

■「まえばし学校フェスタ2022」

1 実施日 令和4年11月19日（土）・20日（日）

2 会場 前橋プラザ元気21（前橋市中央公民館）

3 内容と参加者数

<ステージ発表>

【内容】

- * オープニング <大胡小学校>
 - ・合唱 ・合奏 ・金管アンサンブル
 - ・国際理解サークル発表
 - ・少年の主張（県最優秀賞）
 - ・読書感想文（市最優秀賞）
 - ・英語スピーチ（市1位入賞者）
- * フィナーレ <市立前橋高校吹奏楽>

【参加者数】

- 個人発表（3名）
- 小学校（6校：183名）
- 中学校（1校：14名）
- 市立前橋高校（37名）

合計 237名



<展示発表>

【内容】

- ・絵画、立体作品等
 - 小学校1校：8点
 - 中学校・特別支援学校12校：180点
 - 幼稚園1園：3点
 - 市立前橋高校：21点

合計 212点

- ・「学校自慢写真」（市立学校・園、附属幼小中特別支援学校、共愛小中学校）

<中学生ボランティア>

- ・読み聞かせ（2階こども図書館）
- ・ステージ発表司会進行

中学校1校 18名

各種発表及びボランティア総参加者数

合計 616名

<同時開催 前橋市図工美術作品展>

【内容】

- ・絵画、立体作品
 - 市立幼稚園・小学校・中学校
 - 附属小学校・中学校

合計 1,154点

4 来場者数 2日間合計

（合同開催：前橋市図工美術作品展を含む）

合計 5,172名

5 市内6ロータリークラブとの共催

【参加人数】

- ・前橋ロータリークラブ 76名
- ・前橋東ロータリークラブ 10名
- ・前橋南ロータリークラブ 13名
- ・前橋西ロータリークラブ 12名
- ・前橋北ロータリークラブ 10名
- ・前橋中央ロータリークラブ 11名

* 3日間のべ参加人数 合計 132名

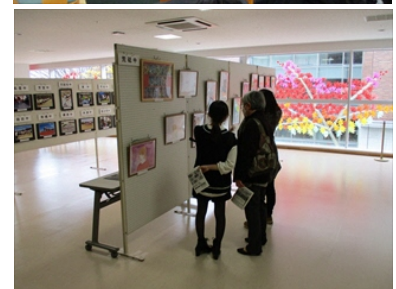
【協力いただいた内容】

- ・前日準備 会場設営、作品展示
- ・当日運営 1階・3階各会場受付、感染症対策、ステージ発表者の誘導、会場監視、来場者案内、作品撤収、会場片付け
- ・その他 広報活動、消耗品・参加賞の手配と購入、ボランティア生徒の昼食の手配と購入



6 フェスタを終えて（各学校より）

- ・子供たちにとっては、自分の作品が展示され、しかも多くの方にも見ていただけることが、大きな励みとなった。また、各学校の作品を見ることができ、今後の創作活動の参考になった。
- ・市内そろって発表できる場は、児童生徒の意欲喚起に大変意義があると思う。
- ・発表者が生き生きとしていて、発表の場を与えられて本当にうれしかったんだろうと観ていて感じた。
- ・子供が大勢の人の前で話す機会が減っている中、貴重な体験だった。
- ・リモートや校内発表では、できない体験ができたと思う。前橋の中学生の立派な姿を見られてよかった。
- ・合唱部は発表の場が少ないため、地区以外の大勢の人が見ている前で発表をさせていただき、緊張しながらもとても満足そうだった。
- ・学校フェスタと市図工美術作品展を合同開催にしたことで、集客の効果があつた。人数が多くなるため、コロナ感染予防に留意しつつ、今後も継続していく方向でよいと思う。
- ・図工美術作品展をフェスタと同時開催することができただけでなく、ロータリークラブの方々に積極的にご協力いただくことができ、図工主任会の運営がとてもスムーズに行えた。
- ・人数制限のため、自分の学校の発表前後しか入場できないのは少し残念であった。しかし、コロナ対策を徹底しているところは素晴らしかった。
- ・参加者の入場制限もあり、入場口と出口が明確になっているなど、感染対策がきちんとされており、安心して発表を聞くことができた。また、発表する学校も、貴重な発表の機会となって、有意義だった。



令和4年度 学区別教育懇話会 実施結果について

学校教育課

(1) 趣旨

学区別教育懇話会は、市内7学区(学区別)において開催し、単位PTA活動の充実・活性化の指針を見出すことをねらいとし、「子供と共に育もう、こころの豊かさ たくましさ」をスローガンに、子供の生きる力を育てるために、家庭では何をなすべきか、地域とどのように連携していくか、そのためにPTAとして何ができるのか等について論議し、子供の健全育成に積極的に取り組んでいくものとする。

また、教育長、教育委員をはじめ、教育委員会事務局関係者が出席し、保護者と学校と教育委員会とで意見交換を行うことで、三者の連携を深め、本市の教育の充実を図る。

(2) 参加者

各学区単位PTA 会長、学校長、市P連会長、市P連副会長、教育長、教育委員、市教育委員会事務局関係者

(3) 開催日程 9月下旬から11月下旬にかけて

(4) 各学区別教育懇話会のテーマ、話し合った内容

学区	開催日・会場	所属校	懇話のテーマ	主な内容
1	11月24日(木) 第三コミュニティセンター	桃井小、中川小、城南小、 城東小、若宮小、附属小、 一中、みずき中、 附属特別支援	あいさつと思いやり	○あいさつについて ・あいさつをすることの意義について考える。 ・あいさつをすることの意味や大切さを伝える取組や実践例を紹介し合う。 ○思いやりについて ・思いやりとはどんなことか。 ・各家庭の工夫や学校で重視していることについて
2	10月26日(水) 南橋公民館	敷島小、岩神小、細井小、 桃川小、荒牧小、原小、 時沢小、石井小、白川小、 三中、南橋中、鎌倉中、 富士見中	思いやりの心をもつ	○子供たちが、思いやりの心をもつために、私たちは何をすべきか ・子供たちの思いやりが足りないと感じるのはどんな場面か、思いやりの心をもちにくくなっているのはなぜか。 ・思いやりを身に付けさせる必要な支援(手立て)は何か。
3	9月30日(金) 広瀬小学校	天川小、広瀬小、山王小、 わかば小、上川淵小、 下川淵小、五中、七中、 明桜中	社会のルールを守り、教える	○家庭でのインターネットやゲームのルールづくり ○PTAや地域と連携した安全対策(交通安全・不審者等防犯)
4	11月9日(水) 東公民館	総社小、勝山小、東小、 元総社小、元総社南小、 元総社北小、大利根小、 新田小、清里小、六中、 元総社中、東中、箱田中	社会のルールを守り、教える	○通学路の危険性について ○不審者の判断・対応について
5	11月17日(木) 芳賀公民館	桂萱小、桃木小、 桂萱東小、 桃瀬小、芳賀小、桂萱中、 芳賀中、附属中、 前橋特別支援	社会のルールを守り、教える	○子供自ら社会のルールやマナーを守るようにするためには、どのようにすればよいか ○多様化する社会において、社会のルールや思いやりの心を教えるためには、どのようにすればよいか
6	10月6日(木) 城南公民館	永明小、駒形小、荒子小、 大室小、二之宮小、 筑井小、木瀬中、荒砥中	自分のことは自分でする	○子供たちが自分の身は自分で守るために、保護者や地域や学校ではどう伝え、何を教えられるか
7	10月18日(火) 粕川公民館	大胡小、大胡東小、 滝窪小、金丸分校、宮城小、 粕川小、月田小、大胡中、 宮城中、粕川中	約束・ルールを守ろう	○ICT機器の活用に関すること(使い方や利用時間などの利用方法についての約束) ○新型コロナウイルス感染症に関すること(マスクの着用、手洗い・消毒の徹底などの約束) ○挨拶・返事・時間等に関すること(起床・就寝時刻など時間やルールを守る意識をもたせる)

【 教育懇話会の主な話題 】

テーマは、「前橋の子育て これだけは」をもとにして各学区で設定し、グループに分かれて、様々な方法により話し合いを実施

「前橋の子育て これだけは」(H.16 市P連決定)
前橋のどの家庭でも、子供たちに身に付けさせたい躰や親としてもってきたい心構え

“子供たちに これだけは”

- 思いやりの心を持つ
- 人にめいわくをかけない
- うそをつかない
- あいさつをする
- やくそく・ルールを守る
- 自分のことは自分です

“親として これだけは”

- 明るく愛情ある家庭をつくる
- 子供との対話を大切にする
- 良いことは褒め、悪いことは叱る
- 子供の意思を尊重する
- 思いやりの心を教え示す
- 社会のルールを守り教える

<思いやりの心を持つ>

- ・核家族化や地域の高齢者、異年齢と関わる機会の減少、インターネット等の普及により、人との接点が乏しくなり、相手のことを考える機会が減っている。
- ・「思いやり」が子供の行為や言葉に見られた時や感じられた時に、大人は「これが思いやりだよ。」と言葉で伝えて、子供が「思いやり」を自覚できるようにする。自分の行動や言動が他者への思いやりであると認識する子供が増えれば、よりよい世界となっていく。
- ・親が子供の話を聞く機会を意図的に設けたり一緒に過ごす時間を増やしたりして、子供ときちんと向き合っていく。
- ・体験活動や読書などを通して様々な世界を知り、相手の気持ちを想像する力を身に付けられるようにする。
- ・異年齢同士の交流の場や機会を設けて、何かを作ったり遊んだりするなど、様々な年代との関わりの中で、様々な体験や経験をできるようにする。

<あいさつをする>

- ・あいさつは、相手の存在を認める行為、合図である。互いの気分をよくし、互いの心を広げてつながりであり、コミュニケーションの基本である。人間関係の始まりの一步となる。
- ・家庭や学校でのあいさつの習慣化が大切であり、家族や友達など様々な人との関わりを通して、あいさつをする力を育成していく。
- ・あいさつの意義や意味、よさを理解することによりあいさつができる子になっていく。だから、そのことについて、子供同士で話し合うとよい。
- ・親や先生など周囲の大人が、いつでもだれにでも元気よくあいさつをして、手本を見せることが大切である。

<やくそく・ルールを守る>

ICT機器の活用に関すること

- ・子供たちはタブレットの使い方に慣れ、活用する力が伸びて、機器の有効活用ができています。それゆえに、親子で話し合い、使い方のルールや使用時間を決め直したり再確認をしたりして、ルールを共有していくことが大切である。

新型コロナウイルス感染症に関すること

- ・マスク着用や手洗い、手指消毒などが習慣化され、しっかりやっている。その反面、マスクを着用することに慣れすぎてしまい、人とのコミュニケーションの取り方が難しくなっている。

あいさつ・返事・時間等に関すること

- ・親が、あいさつをすることや時間を守ることは、社会に出ていく上で「大事なこと・必要なこと」という意識をしっかりともち、教えていくことが大切である。

<自分のことは自分である>

～自分の身は自分で守るために、どう伝え、何を教えるか～

○学校の取組

- ・主体的に物事を考え判断する機会を子供に与えて、善悪を判断する力を育てていく。
- ・失敗から学べるよう、失敗したときには、子供を一度受け止める。そして、子供に、どう考える？ どう思う？ どうする？ と聞き返すことで、判断力を養っていく。
- ※受け止め方の三段階＝①その子の言葉を繰り返す ②要約する ③その子の気持ちに共感する

○地域の取組

- ・※いかのおすしや安全マップを活用したり子ども安全協力の家を分かりやすくしたりと、様々な安全対策を講じていく。 ※ 行かない 乗らない 大声を出す すぐに逃げる 知らせる
- ・子供は、地域の人との関わりを通して、親や先生以外の大人との関わり方を学ぶため、地域の人と関わる機会が大切である。

○保護者の取組

- ・子どもは先を予測したり危険を予知したりすることが難しく、不審者に対して警戒心が低く、即興で判断する力が弱い。ゆえに、親子で意識的・意図的に不審者について話をする必要がある。
- ・ルールを自分事として捉えて守ろうとする意識が芽生えるよう、ルールを決める時には、子供の腑に落ちるよう話し合っ、一緒に決める。

○通学路の危険性について

- ・場当たりに教えるのではなく、通学路を親子で歩いたり、安全マップを活用したりして計画的に意図的に子供たちに危険箇所を教え、身を守れるようにしていく。
- ・通学路の交通量が多い、道幅が狭い、信号機が少ないなどの課題解決のために、自治会や警察との連携が大切である。

○不審者の判断、対応について

- ・防犯ブザーの使い方や大声を出して逃げることを教えたり、「いかのおすし」を実践できるようにしたりしていく。
- ・危険を教えるだけでなく、子供同士でヒヤリハットを共有したり意見交換をしたりして、子どもたちが危険について考える機会を持つようにする。
- ・元気よくあいさつする明るい地域になるよう、地域の活性化を図っていく。

<社会のルールを守り教える>

- ・親子で対話しながら、一緒にルールをつくる。
- ・子供がルールを守れるようになるために、場面や機会を捉えて説明をしたり考えさせたりして、毎日の生活を通して、身に付けさせていく。
- ・親子でルールを決めたら、甘やかしてしまわないよう約束したことを徹底して守らせ、それを積み重ねていく。
- ・自分がしたことを周りがどう思うか、子供が振り返る機会を作る。なぜしてはいけないのか、なぜそうするのか、理由を一緒に考える。
- ・家庭と学校とが連携しながら、「ほめる」「しかる」を繰り返し、粘り強く教えていく。
- ・「だめです」「しなさい」の否定や命令ではなく、「するといいよ」「しましょう」という肯定の言葉がけにより、望ましい行動を取れるようにしていく。
- ・子供は大人の正しい姿を見ることで、「正しいこと」について理解し、ルールを守れるようになる。だから、親がしっかりとルールを守り、一番の手本となる。

令和4年度第2回前橋市公民館運営審議会の開催結果について

生涯学習課

日 時	令和4年11月10日（木） 午後2時から午後3時まで
場 所	中央公民館 501・502 学習室
出 席 者	○審議会委員 12人 森谷健委員長、持田みね子副委員長、一場喜久雄委員、阿久澤正彦委員、須藤英雄委員、高橋博委員、高橋海成委員、廣川桂一郎委員、屋内和子委員、青木裕子委員、佐藤高司委員、田口敦彦委員 ○事務局 5人 関口生涯学習課長、関沼副参事、阿久津課長補佐、西澤中央公民館長、中島副主幹
議 題	「地域と学校を結ぶ公民館」について 1 報告 各公民館における「地域と学校を結ぶ公民館」の現状と課題について 2 意見交換
結 果 概 要	第1回目の審議会で承認された「地域と学校を結ぶ公民館」の諮問をテーマに、森谷委員長の進行により意見交換を行った。 事前に各公民館へ「地域と学校を結ぶ公民館」の現状と課題についての照会をかけ、集約した一覧表を委員へ配布し、地域と学校との連携事業の現状と課題を報告した。 第3回委員会日程は、来年2月を予定。内容は地域と学校との連携事業の現場視察を予定している。
主 意 見 等	○ここまで多く学校との連携事業を各公民館が実施している現状に驚いた。しかしながら、それらの事業の情報発信という部分での課題を感じた。 ○学校（先生）の負担が多い中で連携事業を増やすことは難しい状況にある。しかしながら、学校行事に公民館が関わるということが、出来れば学校の負担感も薄れ、連携が進みやすくなるのではないかと感じた。 ○大学の立場とすると、地域連携センターを中心に地域に色々な事業を提供しているのが現状だが、できることは無限ではなく、限られていて、公民館や地域の方とのマッチングがすごく難しいと感じていて、その部分での努力が必要かなと感じている。

第1回前橋市はたちのつどいの開催について

青少年課

- 1 **日時・会場** 令和5年1月8日（日） 午前の部 11:30～12:30
 午後の部 15:00～16:00
 日本トーターグリーンドーム前橋 メインイベントエリア

- 2 **主催** 前橋市、前橋市教育委員会
 (企画運営 第1回前橋市はたちのつどい企画運営委員会)
 ※はたちのつどい企画運営委員会について

はたちのつどいのプログラム構成や出演者は、市内各中学校の卒業生代表24名で構成される企画運営委員会が、8月から月に1～2回程度の会議を重ね検討したものです。はたちのつどい当日の進行も企画運営委員が中心となり行われます。

- 3 **対象者数** 3, 236人（令和4年11月4日現在）
 ※昨年度出席者数：2, 405人(対象者数3, 288人)

4 プログラム

	午前の部	午後の部	スケジュール内容
第1部	11:30～11:45	15:00～15:15	はたちのまなび(企画運営委員作成のビデオ放映)
第2部	11:45～12:00	15:15～15:30	式典 ・市長あいさつ、市議会議長祝辞 ・はたちのメッセージ(来場者代表者1名)
第3部	12:00～12:30	15:30～16:00	はたちのあそび ・ゲストインタビュー ・景品抽選会

5 今回の特徴

①第1部「はたちのまなび」

二十歳を迎える若者がこれから社会に出ていくにあたり知っておいた方がいいこと、ライフプランに特化した映像を放映します。

②第3部「はたちのあそび」

前半は来場者より少し年上の先輩をゲストに招き、事前に来場者から集めた「仕事と生活」に注目した質問に答えていただきます。後半には抽選会を開催します。

③企画運営委員が「はたちのつどい」の認知度を向上させるため、二十歳を迎える若者だけでなく、一般の方を含めポスターを募集し、周知するための独自企画であるポスターコンテストを開催。

④初市まつりとのコラボ企画として前橋公園で参加型イベントを開催、市SNSとの連携による会場外でのお祝い企画の実施。

6 主な新型コロナウイルス対策

- ①午前の部と午後の部による分散開催
- ②電子受付システムにより受付の非接触化と入場者情報の把握
- ③座席を学校ごとの指定席とし、座席間隔の確保を行う
- ④通路を原則一方通行とし、滞留を防止する